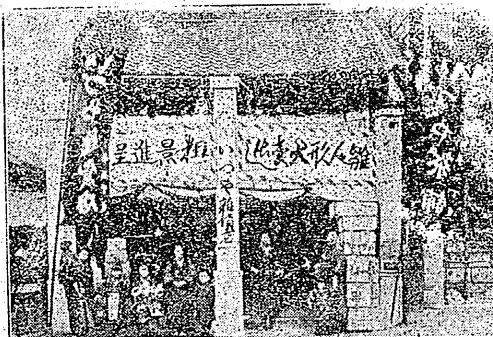


拾週年記念  
形人大賣出し



ヒナ人形 小道具  
三月十二ヨリ全二十七迄

粗品進呈  
いづや  
平一丁目

集募  
成田山大護  
摩登山團休

▲會費金八圓五十錢也  
▲道汽車賃、汽車中辨當茶  
▲代、成田一泊料、箱札、  
▲坊入地解散迄の諸雜費  
▲一切を含む  
▲出發及解散 三月二十  
▲二時午前七時半驛發午後  
▲午前中成田町解散  
▲御申込 左記最寄へ至急  
▲御申込被下度同時に會費  
▲御拂込願上候  
▲五丁目井上貞治郎、新川  
▲町田中官治、南町吉田昌  
▲弘、材木町根本幸次郎  
▲南町浦井兼作、田町小川  
▲芳太郎、才捷小路小野文  
▲彌、小野鶴松、長橋町小  
▲野里吉、古鍛治町志賀萬  
▲次郎、四丁目三井富吉、  
▲三丁目川瀬貞治

時計見習生入用  
御希望の方は御来店願ひます、退店後には  
はすぐ様獨立營業の出来る様毎月貯蓄待  
遇法が付いて居ります。早い方が勝ち  
平町壹丁目  
常盤屋時計店

大音堂  
美術諸看板切  
縮子金銀文字  
建築ペンキ塗  
其他各種  
迅速  
平町四丁目

集募徒生  
左ノ事項ニヨリ本科生百五十名普通科  
第一學年生百五十名ヲ募集ス  
一、願書提出期限 三月卅一日限  
一、試験期日 四月一日午前九時ヨリ  
一、試験ノ科目 國語及ビ算術  
一、試験ノ程度 高等小學校卒業  
一、試験ノ要具 筆答ニ要スル鉛筆小刀等  
一、成績發表表 四月四日午前十二時  
城山 磐城佑賢學舎

産婆、看護婦生徒募集  
産婆看護婦兩科を通じ滿一ケ年  
修業年限 四月八日迄  
願書提出  
平町一丁目  
石城 産科婦學校  
看護婦學校  
電話三五七番

齒科  
平町土橋通り  
原齒科醫院  
電話卅一番

平町屋紺  
町屋紺  
吉田眼科醫院



刊夕日六十月三

發行兼編輯人 川崎文治  
印刷所 常盤毎日新聞社

公開狀

不謹慎なる  
聽衆の行動  
上杉博士に呈す

馬場豊次郎

恭啓未だ拜謁の榮を得ず候  
へ共先生益々御清穆に涉ら  
せられ奉敬賀候。扱去る十  
日先生御來平被下御講演あ  
りて聞き御高名は豫て周知  
の事なれば、迂生も歡びて  
入場いたし難有謹聴致居候  
所、聽衆の内一人突如とし  
て欠聲を發せし者ありて尊  
嚴を破りたるに當り、忽ち  
御講演中止御退場になりた  
れば、一同も失敬の罪を願

ち、恐縮を感じ失望して悄  
然として退散するの止むな  
きに至り候、迂生も當地方  
の一人として先生に對し幾  
重にも御詫び申上げねばな  
らぬと恐懼不能措者に候、  
纏て思ふに斯る不真面目の  
氣分は天下に漲りつゝある  
にはあらずやと思はれ候、  
學校に於ける講演會などで  
も種々不謹慎の發聲ありて  
仲々制む切れざるは通弊に  
して、世間の演說會場にて  
は様々の彌次の發言を亂發  
する事を能事として居る様  
の世相なりと思はる、眞に  
憂ふべき事ならずや、世が  
次第に政治熱に傾注するに  
順ひて師表どもも範型を

もなりて一番大切のは國會  
の風なるべし、然るに我國  
會は該會には必要缺くべか  
らざる神聖謹嚴忠實と言論  
尊重との實相を具示するや  
遺憾ながら實際に於ては口  
には何と云ふ共不謹慎、虚  
偽言論の妨害、暴力の仕放  
第にて議院自ら神聖を瀆が  
す事夥しと云ふべきにあら  
ずや、左に迂生が曩に東京  
の五大新聞と東京毎夕新聞  
社不平等とに投じたる愚見  
を併記して高覽に供し候  
(續)



〈合組業理料洋西町平〉  
日弘三三金藤福益松丸乃鶴カ泉イ一  
の 木笠 出  
や 亭益春彦軒屋軒軒 | 軒ラ屋堂井

組合開設御披露  
いろは順

の樣雜お  
屋島小 御支度 御用命  
式一具道小  
通所役郡田  
大原 リンス店  
平町三丁目

モリスン  
今春流行珍柄  
豊富ニ取揃  
御用意なら  
大原 リンス店  
平町三丁目

遠藤パン  
喰へて  
たいしい  
有聲座談

